



第 35号

Email izumi-j@kanazawa-city.ed.jp



泉中だより

令和8年1月28日(水)

決意を新たに、2年生「立志の集い」



1月27日(火)、「立志の集い」が本校アリーナで開催され、2年生全員が参加しました。

「立志の集い」は主に中学2年生(数え年15歳)が、かつての成人式「元服」にちなみ、大人になる自覚と将来の決意を表明する伝統的な行事です。縄 寛敏金沢市子ども会連合町会長の祝辞の後、立志者を代表して齊藤 早紀さんが「誓いの言葉」を述べました。

記念講演会では石川県出身の芸人、ぶんぶんボウルのお二人が参加者を巻き込みながらの軽妙なやりとりで会場を沸かせてくれました。質問コーナーでは、「受験

勉強にやる気が出ないときはどうしたら?」「中学校の時にやっておいたら良いことは?」「ウマが合わない人と仕事をするときには?」などの質問に対し、一つずつ丁寧に答えてくださり、生徒達は真剣な表情で聴き入っていました。

金沢の伝統文化に触れました

同じく27日、1年生を対象とした加賀万歳の体験が行われました。

本校では毎年、総合的な学習の時間に、金沢の伝統芸能に関する専門家を招き、講話と実演をしていただくだけでなく、体験活動もとり入れています。

初めて見る加賀万歳に最初は戸惑っていた生徒たちも、段々と興味が湧いてきた様子で、歌ったり、楽器を鳴らしたり、舞を舞ったりして楽しい時間を過ごしました。このような行事を通して金沢の伝統芸能の価値やそれに携わる人々の思いを理解し、守り伝える意識が生徒に芽生えることを願っています。加賀万歳保存会の皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。



心が温まる話を聞きました・・・

1月19日(月)の夕方、学校近くの路上に、転んで座り込んでいる地域の方がいたそうです。その時、そこに居合わせた多くの泉中生徒が心配して声をかけたり、その方が帰られるのを見守ってくれたりしたという話を聞きました。

直接、声をかけてくれた人、何かをしたわけではないけど周りでそういった雰囲気を作ってくれた人が多くいたことを嬉しく思います。きっとその方も嬉しく、温かな気持ちになったのではないかと思います。先生たちも、話を聞いて温かな気持ちになりました。

これからも校内外問わずに、誰かのことを思いやれる、そしてどんな些細なことでも行動できる人が増えるといいですね。

(1月20日お昼の校内放送より)

